

市販プラセボ薬の有用性について

～疼痛に対して有効であったと考えられる一例～

- (1)(株)エムワン はあと薬局
- (2)(株)エムワン はあと薬局在宅センター
- (3)(株)エムワン はあと薬局大台店



松田	唯(1)
出谷	彩(2)
西川	茜(3)

趣旨

医療現場において不眠や心因性疼痛
など患者の心理的要因が関与している
と考えられる症状にプラセボ薬が使用
されることがある

しかし...

保険適応上の問題もあり、保険薬局から

病院・診療所に処方提案を行うことは現状では難しい



保険薬局



処方提案



壁
保険適応上の問題

病院・診療所

実際に心理的要因が関与しているであろう症状を

訴える患者に対して

市販のプラセボ薬を使用して有効であったと

考えられる一例を経験したので報告する



目的

心理的要因による症状を訴える患者に
対する市販プラセボ薬の有用性を検証し
今後の保険薬局における薬物治療管理への
応用につなげる



患者背景

80代女性

要介護3

既往歴

H13糖尿病、糖尿病性網膜症、

脳梗塞、うつ病

H28肺炎、心不全



服用薬



Rp01
 クレストール錠2.5mg 1錠
 パリエット錠10mg 1錠
 ザイロリック錠100mg 1錠
 1日1回 朝食後

Rp02
 ルボックス錠25mg 2錠
 1日2回 朝・夕食後

Rp03
 デパス錠0.5mg 1錠
 レンドルミンD錠0.25mg 0.5錠
 1日1回 寝る前

Rp04
 ヒューマログミックス25注ミリオペン(300単位)
 1日2回 食直前に皮下注
 (朝10 夕4)単位

Rp05
 ダイアート錠60mg
 1日1回 朝食後

Rp06
 MS温シップ「タイハウ」

Rp07
 ボルタレン錠25mg 1錠
 ムコスタ錠100mg 1錠
 痛い時、発熱時

Rp08
 ディオバン錠80mg 2錠
 アムロジピンOD錠5mg 2錠
 ナトリクセス錠1mg 1錠
 プラビックス錠75mg 1錠
 1日1回 朝食後

問題点

不穩が強い

**薬に対して強い
依存がある**



**薬の管理は
自身では困難**

経済的な余裕なし



**糖尿病性網膜症により
目はほぼ見えない**

生活歴・生活状況(1)

- アパートにて独居生活
- 生活保護受給者
- 家族: 子供3人
- 長男は月1回の訪問
- 長女・次男は市内に住んでいるが疎遠ぎみ
- 視力障害があるが、訪問看護等の利用にて独居生活継続できている

生活歴・生活状況(2)

以前から疼痛を訴え、ボルタレン錠を常用していた
同様にグルコサミンサプリメント(以下グルコサミン)
も愛用しており、グルコサミンの使用による

疼痛の軽減を強く感じていた



その後…

**独居での生活が困難となり
サ高住への入居が決定した**

サ高住入居後経過

服用薬は施設職員の管理により...
本人が自由に服用できなくなったものの、
特に夜間に痛みを訴えることがあり
その都度ボルタレン錠を
服用していた



経済的事情でグルコサミンの使用を断念した
しばらくこの状況が続いたが...



**患者の強い希望により施設にて
グルコサミンを購入、服用を再開**



**痛みの訴え減少
ボルタレン錠の服用減少**

しかし...

経済的事情からグルコサミンを
継続していくことは困難



そこで...

安価な市販のプラセボ薬をグルコサミンの代替として使用し、効果を検証した



プラセボ薬

結果(1)

市販のプラセボ薬の使用により
心理面での安心感がみられ
痛みを訴えることが徐々に減少していった



痛みの回数↓

結果(2)

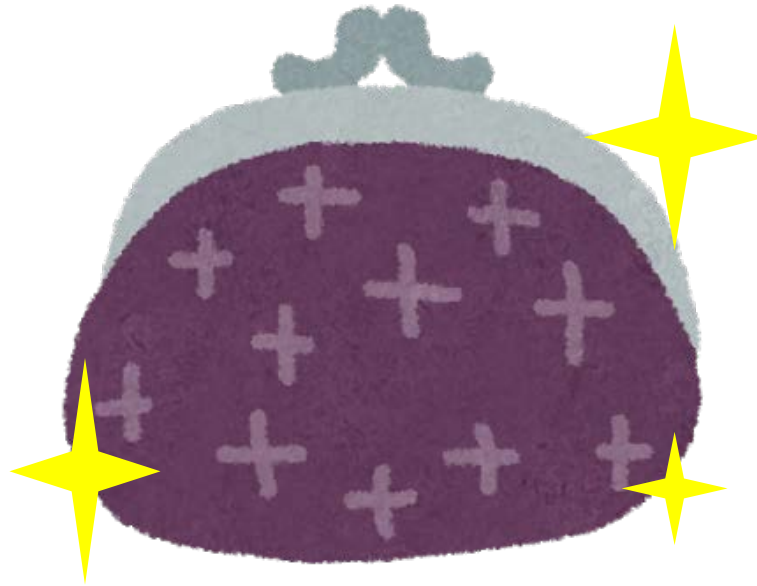
ボルタレン錠の使用量は
毎日から週1回程度に減少



使用量↓

結果(3)

ボルタレン錠およびグルコサミンから安価
であるプラセボ薬に切り替えた
ことで経済的負担も軽減した



経済的負担減↓

1か月あたりの使用量と値段

	1錠あたりの 値段	グルコサミン使用前		グルコサミン使用后	
		使用量/月	値段/月	使用量/月	値段/月
ボルタレン錠	13.6円	30錠	408円	4錠	54.4円
グルコサミン	33円	—	—	30錠	990円
1月あたりの値段		408円		1044.4円	

1か月あたり約600円の負担増↑↑↑

1か月あたりの使用量と値段

	1錠あたりの 値段	グルコサミン使用前		グルコサミン使用后	
		使用量/月	値段/月	使用量/月	値段/月
ボルタレン錠	13.6円	30錠	408円	4錠	54.4円
フラセボ	5円	—	—	30錠	150円
1月あたりの値段		408円		204.4円	

フラセボの使用によって1か月の負担額はたったの204円になる！！

考察

患者は施設入居後の生活環境の変化により

心理的不安が大きかったと推測される

**プラセボ薬の使用は患者の心因的負担の
軽減、また減薬効果による身体的・経済
的負担の軽減に有用であると考えられる**

今後…

安価である市販のプラセボ薬の使用により

保険薬局での薬物治療管理の選択肢を広げ

昨今増大している国民医療費の削減に貢献する

ことができるのではないかと考えられる

第50回東海薬剤師会学術大会
利益相反の開示
筆頭演者名：松田 唯

**私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。**